

2-4 動物園のパブリック・リレーションズにおける広報機能の重要性

川口芳矢

動物園が持つ存在意義や社会的役割と、動物園を利用する生活者が持つ動物園に対する認識には乖離が存在する。それはどこから生まれ、どのように改善できるのかを明らかにしようとしたとき、その一因は動物園が行う広報活動にあるのではないかと仮説を立てた。仮説の検証として、「調査①動物園が行う広報活動の実態」「調査②生活者が持つ動物園の認識」「調査③動物園と生活者を仲介するマスメディアの認識」「調査④多くの動物園の設置者である自治体の認識」を調査した。その結果、動物園と生活者の双方にとって重要なステークホルダーであるマスメディアとの関係性の向上が、動物園のコミュニケーション戦略として重要であることが示唆された。また、調査④から公的に動物園が定義されたものがほとんどなく、動物園の存在意義を改めて確認するために、目的・理念・パーパスの定期的な立ち返り、再確認、再認識を行うことが必要であると考えられた。